

2020年度 第2四半期 決算概要

2020年10月29日
沖電気工業株式会社

2020年度 第2四半期 決算の概要

- 大型案件の一巡による売上の反動減に加え新型コロナウイルス感染症の拡大が継続していることもあり売上高が減少。それにともない各利益が悪化。

(単位:億円)	20年度 実績	19年度 実績	前年比
売上高	1,735	2,184	△449
営業損益	△26	52	△78
経常損益	△32	29	△61
(親会社株主に帰属する) 四半期純損益	△54	41	△95
USD平均レート(円)	106.9	108.6	△1.7
EUR平均レート(円)	121.3	121.4	△0.1

- 売上高は449億円減少の1,735億円となりました。前回の決算説明会でもご説明のとおり、キャリア向けネットワーク関連などの大型案件が一巡したことや、ブラジル子会社の事業譲渡を行ったことに加えて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が継続しており、特に欧州では大きな影響が出ております。
- 大幅な減収の結果、営業段階で26億円の損失となりました。
- 当第2四半期累計期間におけるコロナ影響は売上高で約165億円、営業利益段階で約50億円のマイナス影響があったと認識しております。
- 経常損失は32億円、四半期純損益は、事業構造改革に伴う損失の計上が18億円あったことなどから、54億円の損失となっております。前年度は非事業性資産の売却益などがあったため、前年比では95億円の悪化となりました。
- なお、期中の平均為替レートは、USDドルでは106.9円で、対前年度では1.7円の円高、ユーロにつきましては、121.3円で、同0.1円の円高となっております。

2020年度 第2四半期 セグメント情報(売上高)

- ソリューションシステム
大型案件(NW関連および一部官公庁向け)の反動減や売上基準変更などの前年度影響はあるものの、第2四半期に入り前年比の減少幅が縮小。
- コンポーネント&プラットフォーム
海外市場を中心に新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、機器販売が低迷。

(単位:億円)	20年度 実績	19年度 実績	前年比
ソリューション システム	835	1,036	△201
コンポーネント& プラットフォーム	878	1,084	△206
そ の 他	22	63	△41
合 計	1,735	2,184	△449

※19年度実績はリステートしています。

- ソリューションシステム事業の売上高は前年比201億円減少し、835億円となりました。前年の工事進行基準の適用範囲を変更した初年度影響や大型案件の一巡による減少があるものの、四半期ごとでは第1四半期と比べて増収となっており、前年比較の減少額は縮小しております。
- コンポーネント&プラットフォーム事業の売上高は前年比206億円減少し、878億円となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響については、特に欧州で感染が再拡大していることや、インドでも感染状況に大きな変化が見られないことなどから、総じて海外市場でのビジネスに改善の兆しが見えません。一方、国内市場におきましては、大きな懸念はなく、概ね安定した推移となりました。
- その他の事業の売上高減少については、ブラジル子会社の事業譲渡が影響しております。

2020年度 第2四半期 セグメント情報(営業利益)

- ソリューションシステム
前年度の一時的な売上増に対する反動減の影響はあるものの、安定した利益を確保。
- コンポーネント&プラットフォーム
販売不振による減収の影響、売上構成は改善途上。

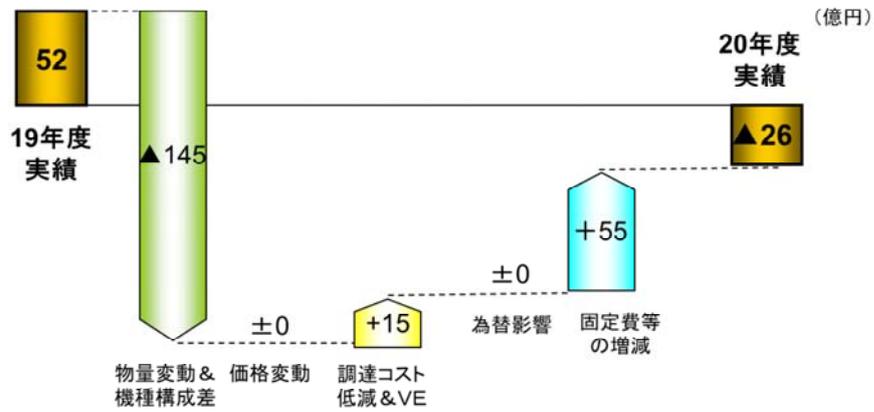
(単位:億円)	20年度 実績	19年度 実績	前年比
ソリューション システム	40	56	△16
コンポーネント& プラットフォーム	△36	31	△67
そ の 他	△1	△1	0
消去・本社費	△28	△34	+6
合 計	△26	52	△78

※19年度実績はリステートしています。

- ソリューションシステム事業は、前年比16億円減少し、40億円の営業利益となりました。前年比では、売上反動減の影響があるものの、四半期ごとに安定した利益を確保しております。
- コンポーネント&プラットフォーム事業は、前年比67億円悪化し、36億円の営業損失となりました。新型コロナウイルス感染症の影響が大きい海外市場で、売上が振るわなかったことが影響しました。プリンター消耗品の売上の減少は一定程度の落ち着きが見られるものの、全体感としては第1四半期から目立った改善はしていません。また、アジア地域の自動化機器については売上の回復が進んでいないことから、利益についても伸び悩んでおります。国内市場については、これまでのところ、想定範囲で堅調に推移しております。

2020年度 第2四半期 営業利益の変動要因

- 物量変動の影響が大、費用等全般の見直しで一部をリカバリー。



- 営業利益の変動要因を、5億円単位でイメージチャートにしたものです。
- 全体に物量減少の影響が大きくなっております。
- 固定費については、プリンターの販売投資を抑制するなど、費用全般について見直し、抑制を図ったものの、補いきれませんでした。

2020年度 第2四半期 B/Sの概要

- 各資産・負債の構成に大きな変化無し、総資産は圧縮。
- 自己資本比率は0.5ポイント減少。

(単位:億円)	20年9月	20年3月	前年度末比
流動資産	2,051	2,367	△316
固定資産	1,370	1,357	13
資産の部	3,421	3,725	△304
流動負債	1,491	1,599	△108
固定負債	969	1,061	△92
負債の部	2,460	2,660	△200
自己資本	959	1,062	△103
その他	2	2	0
純資産	961	1,064	△103
負債及び純資産合計	3,421	3,725	△304
自己資本比率(%)	28.0	28.5	△0.5
DEレシオ(倍)	0.8	0.7	+0.1

- 各資産・負債の構成に大きな変化がございません。
- 総資産は前期末から304億円減少し、3,421億円、自己資本は103億円減少し959億円となりました。
- 結果、自己資本比率は28.0%、DEレシオは0.8倍となりました。

2020年度 第2四半期 キャッシュフローの概要

- 前年度の資産売却を除いてほぼ前年並み。
- 手元資金は若干の余裕がある水準。

(単位:億円)	20年度 実績	19年度 実績	前年比
I 営業キャッシュフロー	166	121	+45
II 投資キャッシュフロー	△101	14	△115
フリー・キャッシュフロー(I + II)	65	135	△70
III 財務キャッシュフロー	△67	△133	+66
現金および現金同等物の残高	462	266	+196
固定資産取得額	201	74	+127
減価償却費	61	61	-

- フリー・キャッシュフローは65億円の収入超過となりました。前年実績には不動産の売却などの一時的な特殊要因が含まれております。
- 現金同等物は462億円と、十分な手元資金を保っております。

2020年度 通期業績予想

- 売上高、営業利益およびセグメント別については前回公表を据え置き。
- 当期純利益に事業構造改革に伴う特別損失の発生影響を織り込む。

(単位:億円)		20年度 予想	19年度 実績	前年比
ソリューション システム	売上高	1,950	2,291	△341
	営業利益	150	202	△52
コンポーネント& プラットフォーム	売上高	2,050	2,163	△113
	営業利益	10	52	△42
その他	売上高	50	119	△69
	営業利益	0	△6	+6
消去・本社費	営業利益	△75	△80	+5
	売上高	4,050	4,572	△522
連結合計	営業利益	85	168	△83
	経常利益	80	138	△58
	当期純利益	10	141	△131

前提為替レート
USD: 110円
EUR: 120円

※19年度実績のリステート値は、一部見直しています。

- 売上高、営業利益およびセグメント別の予想値については、足元の決算状況などを踏まえた上で前回公表を据え置きます。
- 未定としておりました経常利益以外については一定の試算を元にそれぞれ、経常利益80億円、当期純利益10億円の予想です。

2020年度 投資およびキャッシュフロー

投資等 (単位:億円)	20年度 予想	19年度 実績	前年差
設備投資(有形+無形)	210	192	+18
減価償却費	130	120	+10
研究開発投資	120	106	+14
<hr/>			
キャッシュフロー (単位:億円)	20年度 予想	19年度 実績	前年差
I 営業キャッシュフロー	200	325	△125
II 投資キャッシュフロー	△200	△30	△170
フリー・キャッシュフロー(I+II)	0	295	△295

- 投資およびキャッシュフローの予想数値について、ご覧の通りとします。
- 投資等につきましては、今後の注力領域への投資を増加させ、戦略的投資の枠を確保いたします。
- 今期のキャッシュフローには、構造改革に伴う支出を織り込みました。

ご注意

※本資料における業績予想および事業計画等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

※億円単位の数値の表示方法について：
各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

